

## 山梨) 小中高生がテイクアウト情報のアプリ開発

有料記事

玉木祥子 永沼仁 2020年4月22日 10時30分



アプリの画面。テイクアウトができる飲食店が紹介されている

を結びつけられないか」と考えた。

ほかの3人と一緒に、ライカーズアカデミア社長の塩島諒輔さん（26）に助言を受け、インターネット電話のスカイプでやり取りしながらアプリを開発。飲食店の情報は、ITで地域課題の解決をめざす市民団体「Code for Yamanashi」の協力で更新している。

アプリは無料。誰でも投稿ができ、利用者からの投稿で飲食店の情報が増える仕組みだ。アプリ内に店のアカウントを作り、店が詳しい情報を掲載したり、店への応援メッセージを送ったりすることもできる。

「工夫したのは、駐車場の有無や支払い方法などの項目を作ったこと。どんな情報があったらいいのかを考えた」と若林さん。今後も4人で話し合い、利用者目線で使いやすくする。

アプリは「<https://takeout-yamanashi.glideapp.io/>」からダウンロードできる。（玉木祥子）



甲府市は21日、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、テイクアウトを始めた飲食店の経費を最大3万円まで補助すると発表した。

テイクアウトを導入し、営業を続けている飲食店を応援したい——。新型コロナウイルスの感染拡大で外出自粛が求められるなか、頑張る飲食店を紹介しようと、山梨県内の小中高生4人がアプリを開発した。

学校が臨時休校となった3月、山梨市のプログラミング教材の製作会社「ライカーズアカデミア」がオンライン講義を無償提供。参加した4人が新型コロナ対策に挑んだ。

アプリを発案したのは甲府市の高校3年、若林丈裕さん（17）。店で食事をする客が減り、テイクアウトを始めた飲食店が増えたことを知り、「外食を楽しみたい客と、厳しい環境下でも料理を提供したい飲食店

対象は市内に店を持ち、持ち帰りサービスを始めたり、拡充したりした従業員5人以下の事業者。容器やチラシ代などの経費の半額を上限3万円まで補助する。来月から受け付ける。

また、従業員20人以下の小規模事業者向けに、最大50万円のつなぎ融資制度を設ける。帰国者・接触者相談センターの体制強化策では保健所職員を増員。6人を臨時採用し、1日5人だった相談対応の専門職員を7人に増やす。

これらの新型コロナ対策を盛り込んだ補正予算案を5月1日の臨時市議会に提出する。（永沼仁）

---

朝日新聞デジタルに掲載の記事・写真の無断転載を禁じます。すべての内容は日本の著作権法並びに国際条約により保護されています。

Copyright © The Asahi Shimbun Company. All rights reserved. No reproduction or republication without written permission.